

まえがき

永久不変という言葉があります。未来永劫にわたり果てしなく続き、決して変わらないことを指しますが、この世にはたった1つだけ、永久不変の真理があります。

その答えは「この世は常に変わり続けていく」で、変わり続けることが唯一変わらない真理なのです。

この変わり続ける世の中で、私たちはさらに変化を求められる、または自ら変化を求めることがあります。変化とか、変革とか、チェンジすることの重要性が説かれたりするわけですが、それは本当に必要でしょうか？

私は自分を変えるのではなく、自分を知る＝自覚が重要だと感じていて、自分を変えるのは自分を知ってからでも遅くはない！と思います。

月並みなたとえかもしれませんが、ルールを破るには、まずルールを知らなければ破ることはできません。型破りとは型を知って初めてできることです。

まずは自分を知り、その上で必要に応じて自身を変える・変えないなど、柔軟に対処するのがこの世で生きて行くベストな選択なのでは？

それでも、現実問題として自分を知ること、さらに自身を知った上でどう変えるのか??

これらに関して、正解を導き出すのは難しい……その理由は「答えは自分の中にあり、

見えにくい」からです。

本書では自分を知る方法とその活かし方を、いくつかの異なる側面から述べており、これにより「世界へ出づる自覚」を目指しています。

この「世界へ出づる自覚」へと皆様をお導きできれば、筆者としては最上の喜びです。